

安全人報誌

安衛委 No138
平成26年2月6日
安全衛生推進委員

年度末労働災害防止月間

年度末は、多くの工事が竣工に向け、あわただしく、また、工事関係者、職種の出入りも多く、作業の油断も生じやすい時期であり労働災害が多発することが危惧されます。このために、三月一日から三十一日までを「建設業年度末労働災害防止強調月間」と定めており、この期間中における労働災害防止活動の一層の推進を図り、年度末を無事故・無災害で締めくくりに新年度を迎えるようにしてください。

福島労働局は二十八日昨年十二月に実施した建設業



一斉監督指導の結果を公表した。一斉監督は二百四十六現場で実施し、このうち百十四現場で労働安全衛生法違反が確認され、是正を

勧告した。違反率は四十六・三%。土木六十二現場、建築百六十一現場、その他二十三現場を監督指導し、土木十九、建築九十二、その他の三現場で違反があった。このうち二十三現場に使用停止等命令を出した。

違反事項は「墜落防止措置」八三件、「元方事業者の講ずべき措置」が七十二件、「建設機械災害防止措置」が一五件、「作業主任者の選任等」が一四件などであり、高さ二メートル以上の足場・開口部の墜落防止対策や、下請等に労働安全衛生に関する指導を行っていないケースなどが見られた。

使用停止等命令を行ったのは全て墜落防止措置にかかる違反で、土木二現場、建築二現場だった。昨年一年間の死亡災害で、建設業は十七人と昨年より六人増加し四日以上死傷者数は、四百八十八人で前年より二十一人減少となつております。

インフルエンザ・感染性胃腸炎に注意

インフルエンザは、一月から三月に流行のピークを迎えます。インフルエンザの予防には、みんなの「かからない」「うつさない」という気持ちがとても大切です。インフルエンザは身体の抵抗力が落ちると発症しやすくなります。日頃から、十分な睡眠、バランスの良い食事、適度の運動に心掛けましょう。手洗いは手指などに付着したウイルスを取り除き、うがいは喉の乾燥を防ぎます。特に外出後は手洗い・うがいをしましょう。空気が乾燥すると、インフルエンザにかかりやすくなります。適度な湿度（50〜60%）加湿器などを調節しましょう。咳・くしゃみ等の症状がある場合は、周りの方へうつさないために、マスクを着けましょう。インフルエンザにかかったら、早めに医師の指示を受けましょう。

インフルエンザは、一月から三月に流行のピークを迎えます。インフルエンザの予防には、みんなの「かからない」「うつさない」という気持ちがとても大切です。インフルエンザは身体の抵抗力が落ちると発症しやすくなります。日頃から、十分な睡眠、バランスの良い食事、適度の運動に心掛けましょう。手洗いは手指などに付着したウイルスを取り除き、うがいは喉の乾燥を防ぎます。特に外出後は手洗い・うがいをしましょう。空気が乾燥すると、インフルエンザにかかりやすくなります。適度な湿度（50〜60%）加湿器などを調節しましょう。咳・くしゃみ等の症状がある場合は、周りの方へうつさないために、マスクを着けましょう。インフルエンザにかかったら、早めに医師の指示を受けましょう。



特にノロウイルスやロタウイルス

による流行は冬季に多く見られます。人混みなどから帰宅した際には、手洗いを励行し、家庭内や集団内での二次感染予防に努めましょう。ノロウイルスは、感染力が非常に強く、ごく少量のウイルスでも口から体内に入ると感染します。おう吐や下痢などが続くときは、脱水症状にならないよう水分補給に努め、長引くときには、すぐに医療機関で受診しましょう。

冬道での交通事故注意

福島県内では一月中に八件の交通事故が発生し、九人の方が亡くなりました。田村警察署管内では一月二十六日に三春町で発生した一件で一人の方が亡くなりました。「冬道での運転では急は厳禁」

- ☆ 急発進
- ☆ 急ブレーキ
- ☆ 急ハンドル

日陰や橋の上等、部分的に凍結している箇所がありますので、路面状況を良く確認し、路面状況に応じた安全速度で走行し、車間距離を十分とつて余裕のある運転をしましょう。

